

文学研究科【学位授与の方針】

<学修成果(教育目標)>

1. 日本の文学や言語、歴史文化に関する体系的な知識を有し、現代の高度情報社会が直面する文化的諸問題を学問的かつ実証的に分析し、その解決策を立案できる能力を身につけていること。
2. 研究発表や共同研究などの経験を活かして、コミュニケーションやプレゼンテーションを適切かつ積極的に行う能力を身につけていること。
3. 職業人や研究者として高い倫理観をもち、社会において適切かつ模範的な言動がとれること。

〔博士前期課程（修士課程）〕

日本文学・日本語文化専攻(博士前期課程)

1. 国際的な視野に立ちながら、日本文学や日本語文化に関する体系的な知識を有し、現代の高度情報社会が直面する文学・言語上の諸問題を学問的かつ実証的に分析し、その解決策を立案できる能力を身につけていること。
2. 古今の文学作品の読解力や優れた日本語運用能力を活かして、コミュニケーションやプレゼンテーションを適切かつ積極的に行う能力を身につけていること。
3. 豊かな日本の文化遺産に敬意を払いつつ、それらを次代に継承させ、発展させてゆく意欲や熱意を身につけていること。

歴史文化専攻(修士課程)

1. 国際的な視野に立ちながら、日本の歴史と伝統・文化に関する体系的な知識を有し、現代の高度情報社会・ボーダレス社会が直面する諸問題を、歴史的観点から実証的に分析し、その解決策を立案・提示できる能力を身につけていること。
2. 史資料や史跡を大切に保存・活用し、過去の歴史を未来に伝達・継承する自覚と技術を身につけていること。
3. 歴史の専門知識と史資料の読解能力を活かし、歴史研究の成果を社会に還元し、市民に伝え、歴史と社会あるいは歴史と市民の媒介者となり、地域社会の一翼を担う資質を身につけていること。

〔博士後期課程〕

日本文学・日本語文化専攻

1. 自立した研究を行う能力や高度の専門的業務に必要な能力を有すること。
2. 従来の研究のまとめや整理にとどまらず、確かな論証により独創的な発見ができること。
3. 当該研究の属する分野における国内外の学会等に発表し、論評に耐えられること。
4. 研究者または職業人としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけていること。